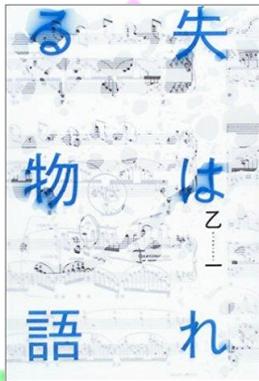


## 今回のテーマ：五感を刺激する本

見る、聞く、嗅ぐ、食べる、触る ——

心身の感覚を研ぎ澄ませて、鮮やかな世界を感じてみよう



913.6/お

事故に遭い、触覚以外の感覚をすべて失った私の腕を鍵盤に見立て、ピアニストの妻は演奏をする——表題作のほか、どれも“触れられる”温かさと、“触れられない”切なさが際立つ6本の物語。ひりひりするような感覚を味わってください。

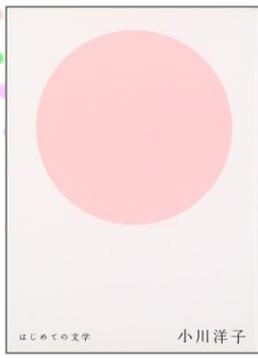
『失はれる物語』  
乙一／著 角川書店



YA913.6/こ

日本に住む、声を失った少女と、アメリカに住む少年が、SNSを通じて、詩とピアノ曲を送り合うことに。顔も声も、何も知らないのに、どうしてこんなに心に響くのだろう。やがて二人はお互いの真実に気づいて——

『きみの声を聞かせて』  
小手鞠 るい／著 偕成社



YA913.6/お

中学の同級生の葬式で再会したK君との不思議な交流（『冷めない紅茶』）や、思い出の品が持ち込まれる標本室で働く私に贈られたとあるもの（『薬指の標本』）等、繊細で壊れそうな手触りと、濃厚な秘密の匂いが感じられる短編集です。

『小川洋子 はじめての文学』  
小川 洋子／著 文藝春秋



913.6/え

コンクールで優勝するほどの腕前を持ちながら対人関係に難ありのため、給食調理室で働くことになった笹目。技術だけではねじ伏せられない“給食”と、子どもたちとの七転八倒の日々。いつも口にしてのご飯の裏側が覗けるお話。

『給食のおにいさん』  
遠藤 彩見／著 幻冬舎



911.5/た

私たちは音楽を聴いて感動したり、鳥の声で目覚めたりします。世界は様々な音であふれています。“たましいの耳”をすまます気持ちで、世界の一端に触れてみてください。音に着目した美しい詩集です。

『聴くと聞こえる』  
谷川 俊太郎／著 創元社



386.1

四季によって移り変わる、植物や動物、旬の食べ物、イベントや行事など、折角日本にいるのだから、五感をフル活用して楽しんでみてはどう？ なんとなく過ぎていく毎日に、退屈している人におすすめ。

『にっぽんの歳時記ずかん』  
平野 恵理子／著 幻冬舎エデュケーション

ここで紹介している本は、2階 **閲覧室前に展示中** です。

中高生向けの本は、図書館1階 **中学生コーナー (YA)** にたくさんあります。

蔵書検索機やインターネットで、貸出状況の確認や予約もできます。



最近本、  
読んどる？



## 《そのほかの“五感”を刺激してくれる本》

ここで紹介している本は、2階 閲覧室前に展示中 です。

『よんどる』に載せきれなかった本も展示していますので、ぜひ手にとってみてください。



### ▼ 五感 “見る、聞く、嗅ぐ、食べる、触る” を刺激する本

YA:中学生コナ

書名	著者名	対象	分類番号
世界一美しい錯視アート	北岡 明佳／著		145.5
ヘレン・ケラー	筑摩書房編集部／著	YA	289.3
年中行事を五感で味わう	山下 柚実／著	YA	386
虫の目になってみた	海野 和男／著		486
歌う鳥のキモチ	石塚 徹／著		488.1
五感ってなんだ！まるごとわかる「感じる」しくみ	山村 紳一郎／著	児童	ワ に
眺望絶佳の打ち上げ花火	金武 武／著		575.9
バスボムレシピ	篠原 由子／著		576.7
ひとりひとりの味	平松 洋子／著	YA	596
ハーブをたのしむ絵本	大野 八生／作	児童	ワ し
ワンダフル・プラネット！	野口 聡一／ツイート&メッセージ		748
かわいい色の本	ingectar-e／著		757.3
目でみることば [1]	おかべ たかし／文		814
世界を、こんなふうに見てごらん	日高 敏隆／著		914.6
動物と話せる女性ハイジ	ハイジ／著	YA	936

### ▼ 五感 “見る、聞く、嗅ぐ、食べる、触る” を刺激する物語

玄関の覗き穴から差してくる光のように生まれたはずだ	木下 龍也／著		911.1
風が吹いたり、花が散ったり	朝倉 宏景／著		913.6
においのカゴ	石井 桃子／著		913.6
約束	石田 衣良／著		913.6
声をきかせて	櫻崎 茜／著	YA	913.6
調律師	熊谷 達也／著		913.6
ぼくのメジャースプーン	辻村 深月／著		913.6
人体模型の夜	中島 らも／著		913.6
タスキメシ	額賀 滯／著		913.6
サッカーボールの音が聞こえる	平山 譲／著		913.6
初恋料理教室	藤野 恵美／著		913.6
グレープフルーツ・ジュース	オノ ヨーコ／著		931.7
その歌声は天にあふれる	ジャミラ・ガヴィン／作	YA	933